

保健だより

2016年9月1日（木）発行

今年の夏は台風や猛暑等で天候の不安定が続き、又、記録的な大雨となり、各地で土砂災害が発生しています。体調に気を付けて元気に過ごしましょう。

〒252-0326 相模原市
南区新戸5195-4
サンガこども園
電話046-255-0148



9月1日は防災の日です

地震や台風などに備え、非常用品をそろえておきましょう。
水・保存食・ナイフ・タオル・救急用品・携帯ラジオ・懐中電灯・ライターなどが揃っているか点検しましょう。

～救急用品の点検をしましょう。～

救急箱にバンソウコウ・ガーゼ・包帯・三角巾・
脱脂綿・綿棒・ハサミ・体温計・毛抜きピンセット・
外傷用薬品などがそろっているか点検しておきましょう。



避難場所

大規模地震など災害が起きた時、避難する場所は次の3通りがあります。

～一時避難場所～

地震にともなう火災などが近隣に発生した場合、様子を見るために一時的に避難する空地、小公園、学校などです。各地域ごとに決められています。

～広域避難場所～

地震時に同時に多くの火災が発生し燃え広がった場合に避難する場所です。市町村が指定しています。

～避難所～

地震などで家が倒壊、焼失した場合、家が被災した住民を受け入れるために、公立小・中学校などに開設されます。

9月9日は救急の日です

子どもの事故はいつ起きても不思議ではありません。ちょっとした油断でおこってしまいます。特に人が大勢いる場所では、誰かが見ているだろうと思ったりします。そこに落とし穴があります。日々の生活の身の回りに注意してお子さんの事故を未然に防ぎましょう。

事故の種類として0歳児では寝ている時の窒息死、転落などのベッドまわりで事故が起こりがちです。歩けるようになると浴室、台所、戸外での事故が増えてきます。

～救急車の呼び方～

- ① 電話で「119」をダイヤルする。
- ② 「火事ですか。救急ですか」とたずねますので、「救急です。」と答える。
- ③ 場所を伝える。
名前、住所、電話番号（携帯電話の場合はその旨を伝える）、電話した本人の名前、場所の目標物を伝える。
- ④ 「どのような状態ですか。」と聞かれたら、「いつ」「どこで」「だれが」「どのようにして」「どうなったか」を説明する。
- ⑤ 救急車が到着したら救急隊員に次のことを伝える。
 - ・ 到着までのお子さんの状態。
 - ・ 到着までに実施した応急処置。
 - ・ 119番の受付員から電話で指示された応急処置があればその内容。
 - ・ 病歴など。

